

# 第1 人口と世帯 (「平成12年国勢調査結果速報(福岡県)」より)

## 1 人口の動向

### (1) 総人口

平成12年10月1日現在の総人口は5,015,666人

平成12年10月1日現在の総人口は、5,015,666人(国勢調査速報値)で、国勢調査で初めて500万人を突破した。

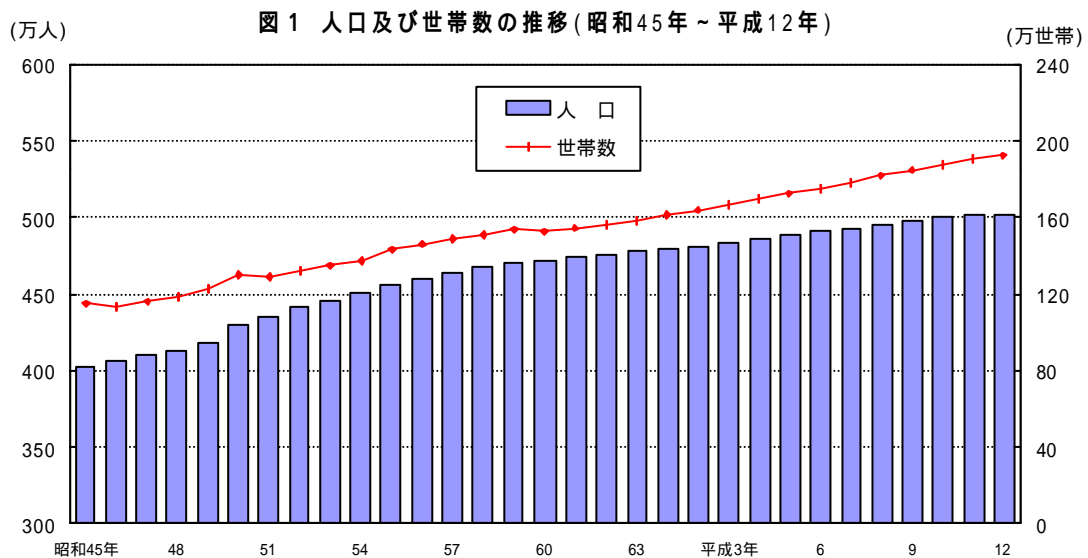
男女別にみると、男性は2,388,466人(総人口の47.62%)、女性は2,627,200人(同52.38%)で、女性が男性より238,734人多く、性比は90.9となっている。(表1、表2、図1)

表1 10月1日現在総人口、構成比及び人口密度

	総人口(人)		構成比(%)		人口密度(人/km <sup>2</sup> )		対前年差	
	12年	11年	12年	11年	12年	11年	構成比	人口密度
福岡県	5,015,666	5,010,710	100.00	100.00	1,009.2	1,008.3	-	0.9
(男)	2,388,466	2,389,132	47.62	47.68	-	-	0.06	-
(女)	2,627,200	2,621,578	52.38	52.32	-	-	0.06	-
市部	3,902,597	3,892,599	77.81	77.69	1,788.3	1,784.1	0.12	4.2
郡部	1,113,069	1,118,111	22.19	22.31	399.3	401.1	0.12	1.8
福岡	2,327,974	2,311,181	46.41	46.12	1,519.0	1,508.1	0.29	10.9
北九州	1,352,259	1,354,123	26.96	27.02	1,166.7	1,168.8	0.06	2.1
筑豊	465,728	471,692	9.29	9.41	473.0	479.1	0.12	6.1
筑後	869,705	873,714	17.34	17.44	672.3	675.4	0.10	3.1

表2 平成12年10月1日現在人口による性比

	総人口(人)	男女別人口(人)		性比
		男	女	
福岡県	5,015,666	2,388,466	2,627,200	90.9
市部	3,902,597	1,860,663	2,041,934	91.1
郡部	1,113,069	527,803	585,266	90.2
福岡	2,327,974	1,123,336	1,204,638	93.3
北九州	1,352,259	639,695	712,564	89.8
筑豊	465,728	216,345	249,383	86.8
筑後	869,705	409,090	460,615	88.8



## (2) 地域別人口

総人口の46.41%を占める福岡地域

総人口を地域別にみると、福岡地域が2,327,974人(総人口の46.41%)で最も多く、以下、北九州地域1,352,259人(同26.96%)、筑後地域869,705人(同17.34%)、筑豊地域465,728人(同9.29%)の順となっている。

また、性比は、福岡地域で93.3、北九州地域89.8、筑後地域88.8、筑豊地域86.8となっている。(表1、表2)

## (3) 市町村別人口

総人口に占める割合は市部77.81%、郡部22.19%

総人口を市部、郡部別にみると、市部が3,902,597人(総人口の77.81%)、郡部が1,113,069人(同22.19%)となっている。また、性比は、市部で91.1、郡部で90.2となっている。(表1、表2)

市町村別にみると、福岡市が1,341,489人(総人口の26.75%)で最も多く、以下、北九州市1,011,491人(同20.17%)、久留米市236,529人(同4.72%)、大牟田市138,635人(同2.76%)、春日市105,146人(同2.10%)の順となっており、この5市が10万人を超えている。

また、性比をみると、宇美町が101.3で最も高く、山田市の82.0が最も低くなっている。(表3、表4)

表3 人口及び構成比順位(市町村)  
(平成12年10月1日)

順位	市町村	人口 (人)	構成比 (%)
1	福岡市	1,341,489	26.75
2	北九州市	1,011,491	20.17
3	久留米市	236,529	4.72
4	大牟田市	138,635	2.76
5	春日市	105,146	2.10
6	筑紫野市	93,031	1.85
7	大野城市	89,413	1.78
8	宗像市	81,600	1.63
9	飯塚市	80,644	1.61
10	行橋市	69,744	1.39
⋮	⋮	⋮	⋮
88	山川町	5,711	0.11
89	上陽町	4,223	0.08
90	大平村	4,191	0.08
91	新吉富村	4,106	0.08
92	星野村	3,881	0.08
93	赤村	3,636	0.07
94	矢部村	1,760	0.04
95	宝珠山村	1,729	0.03
96	小石原村	1,221	0.02
97	大島村	909	0.02

表4 性比順位(市町村)(平成12年10月1日)

順位	性 比			
	高い市町村		低い市町村	
1	宇美町	101.3	山田市	82.0
2	苅田町	100.8	川崎町	83.1
3	粕屋町	100.1	田川市	83.4
4	那珂川町	97.5	稲築町	83.5
5	春日市	96.6	大牟田市	83.8
6	庄内町	96.2	勝山町	84.5
7	大野城市	95.1	赤村	84.6
8	筑紫野市	94.7	宮田町	84.7
9	新宮町	94.5	大任町	84.7
10	須恵町	94.3	香春町	85.1

#### (4) 人口密度

##### 人口密度は、春日市がトップ

1km<sup>2</sup>当たりの人口密度は、1,009.2人となっている。

地域別にみると、福岡地域が1,519.0人で最も高く、以下、北九州地域1,166.7人、筑後地域672.3人、筑豊地域473.0人の順となっており、福岡地域と筑豊地域との差は、3倍を超えている。

市部、郡部別にみると、市部が1,788.3人、郡部が399.3人となっている。(表1)

市町村別にみると、春日市が7,430.8人で最も高く、以下、志免町4,343.9人、福岡市3,965.5人と続き、最も低いのは矢部村の21.9人で、以下、小石原村41.6人、星野村47.7人の順となっている。(表5)

表5 人口密度順位(市町村)(平成12年10月1日)

順位	人口密度(人/km <sup>2</sup> )			
	高い市町村		低い市町村	
1	春日市	7,430.8	矢部村	21.9
2	志免町	4,343.9	小石原村	41.6
3	福岡市	3,965.5	星野村	47.7
4	大野城市	3,326.4	上陽町	71.2
5	中間市	3,005.8	犀川町	75.6
6	水巻町	2,867.1	宝珠山村	76.6
7	粕屋町	2,465.5	大平村	85.6
8	太宰府市	2,232.3	添田町	96.5
9	北九州市	2,089.1	黒木町	108.4
10	久留米市	1,897.1	大島村	111.9

## 2 世帯数の動向

### 平成12年10月1日現在の総世帯数は1,916,909世帯

平成12年10月1日現在の総世帯数は、1,916,909世帯(国勢調査速報値)で、1世帯当たり人員は2.62人となっている。

市町村別にみると、福岡市が599,584世帯で最も多く、総世帯数の31.28%を占めている。以下、北九州市407,899世帯(同21.28%)、久留米市88,773世帯(同4.63%)の順となっている。

1世帯当たり人員をみると、最も多いのは朝倉町の3.96人で、以下、田主丸町3.76人、志摩町3.73人と続き、これらを含む88市町村で県平均を上回っている。一方、最も少ないのは、福岡市の2.24人で、同市と朝倉町の差は1.72人となっている。(図1、表6、表7)

表6 10月1日現在世帯数及び1世帯当たり人員

	世帯数 (世帯)		1世帯当たり 人員(人)	
	12年	11年	12年	11年
福岡県	1,916,909	1,901,944	2.62	2.63
市部	1,555,238	1,539,868	2.51	2.53
郡部	361,671	362,076	3.08	3.09
福岡	935,066	918,834	2.49	2.52
北九州	528,325	528,244	2.56	2.56
筑豊	169,974	172,050	2.74	2.74
筑後	283,544	282,816	3.07	3.09

表7 世帯数及び1世帯当たり人員順位(市町村)  
(平成12年10月1日)

順位	世帯数 (世帯)	1世帯当たり人員 (人)
1	福岡市	599,584
2	北九州市	407,899
3	久留米市	88,773
4	大牟田市	50,989
5	春日市	39,149
6	大野城市	33,267
7	筑紫野市	32,460
8	飯塚市	31,321
9	宗像市	29,059
10	行橋市	24,678
・	・	・
88	山川町	1,602
89	大平村	1,372
90	新吉富村	1,361
91	上陽町	1,181
92	赤村	1,165
93	星野村	1,128
94	矢部村	604
95	宝珠山村	502
96	大島村	373
97	小石原村	353

## 第2 人口動態（「福岡県人口移動調査」より）

### 1 人口増加

#### (1) 総人口

この1年間に12,460人(0.25%)増加

平成11年10月から12年9月までの1年間に、総人口は12,460人(0.25%)増加しており、その内訳は、男性が4,179人(0.17%)、女性が8,281人(0.32%)となっている。

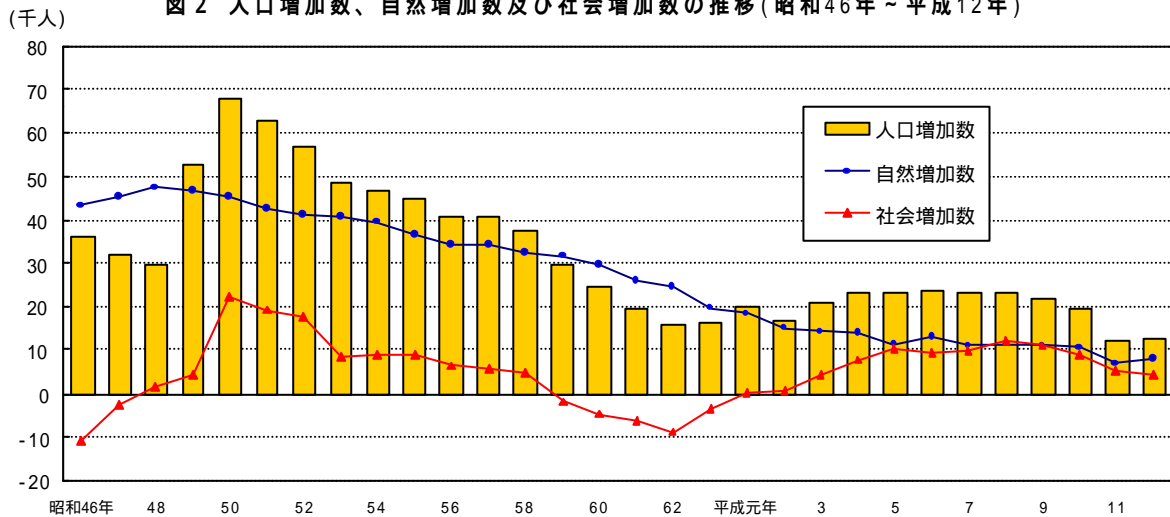
人口増加数及び増加率を前年(10年10月～11年9月)と比べると、増加数は258人増加し、増加率は0.01ポイント上昇している。

また、増加の内訳は、自然増加で8,049人(0.16%)増、社会増加で4,411人(0.09%)増となっている。(表8、図2、表10、表11)

表8 人口増加数及び人口増加率(前年10月1日～当年9月30日)

	人口増加数(人)		人口増加率(%)		対前年差	
	12年	11年	12年	11年	増加数	増加率
福岡県	12,460	12,202	0.25	0.24	258	0.01
(男)	4,179	4,660	0.17	0.20	481	0.03
(女)	8,281	7,542	0.32	0.29	739	0.03
市部	12,310	11,920	0.32	0.31	390	0.01
郡部	150	282	0.01	0.03	132	0.02
福岡	18,452	19,666	0.80	0.86	1,214	0.06
北九州	3,201	2,814	0.24	0.21	387	0.03
筑豊	2,117	3,288	0.45	0.69	1,171	0.24
筑後	674	1,362	0.08	0.16	688	0.08

図2 人口増加数、自然増加数及び社会増加数の推移(昭和46年～平成12年)



## (2) 月別人口の動き

### 目立つ2月、3月の人口減少、4月の人口増加

平成11年10月から12年9月までの総人口の動きを月別にみると、1月～3月は減少し、他の月は増加している。各年とも、転勤、就職、進学等の重なる4月(平成12年4月中は14,999人増)の動きが他に比べ、際だって大きくなっている。(表9)

表9 月別人口増減数の推移(平成8年～平成12年)

年次	1月中	2月中	3月中	4月中	5月中	6月中	7月中	8月中	9月中	10月中	11月中	12月中	総数
平成8年	98	153	14,019	19,013	2,970	2,471	1,658	3,552	1,556	2,599	2,033	1,827	23,911
9年	224	258	12,405	17,621	2,525	1,961	1,950	2,607	1,680	2,717	1,724	1,347	21,245
10年	46	399	12,576	16,359	2,168	1,695	2,120	2,837	1,584	1,595	1,182	1,050	17,661
11年	1,810	1,079	12,460	14,669	2,167	1,557	1,339	3,247	745	1,364	1,510	940	12,189
12年	786	1,488	12,416	14,999	2,492	1,163	1,540	2,489	653				

## (3) 地域別人口の動き

### 福岡地域が5年連続して人口増加

地域別にみると、福岡地域で18,452人(0.80%)増加したものの、北九州地域で3,201人(0.24%)、筑豊地域で2,117人(0.45%)、筑後地域で674人(0.08%)減少している。福岡地域のみ5年連続して人口が増加している。(表8、表10、表11)

表10 人口増加数、自然増加数及び社会増加数(前年10月1日～当年9月30日)

	人口増加数(人)		自然増加数(人)		社会増加数(人)	
	12年	11年	12年	11年	12年	11年
福岡県	12,460	12,202	8,049	7,033	4,411	5,169
(男)	4,179	4,660	3,363	2,635	816	2,025
(女)	8,281	7,542	4,686	4,398	3,595	3,144
市部	12,310	11,920	8,494	7,814	3,816	4,106
郡部	150	282	445	781	595	1,063
福岡	18,452	19,666	8,826	8,606	9,626	11,060
北九州	3,201	2,814	10	87	3,211	2,901
筑豊	2,117	3,288	1,075	1,631	1,042	1,657
筑後	674	1,362	288	29	962	1,333

表11 人口増加率、自然増加率及び社会増加率(前年10月1日～当年9月30日)

	人口増加率(%)		自然増加率(%)		社会増加率(%)	
	12年	11年	12年	11年	12年	11年
福岡県	0.25	0.24	0.16	0.14	0.09	0.10
(男)	0.17	0.20	0.14	0.11	0.03	0.08
(女)	0.32	0.29	0.18	0.17	0.14	0.12
市部	0.32	0.31	0.22	0.20	0.10	0.11
郡部	0.01	0.03	0.04	0.07	0.05	0.10
福岡	0.80	0.86	0.38	0.38	0.42	0.48
北九州	0.24	0.21	0.00	0.01	0.24	0.21
筑豊	0.45	0.69	0.23	0.34	0.22	0.35
筑後	0.08	0.16	0.03	0.00	0.11	0.15

(4) 市町村別人口の動き

43市町村で人口増加、54市町村で人口減少

人口増加を市部、郡部別にみると、市部で12,310人(0.32%)、郡部で150人(0.01%)増加している。

市町村別にみると、14市27町2村で増加し、10市38町6村で減少している。

最も増加したのは福岡市の9,585人で、以下、筑紫野市1,610人、春日市1,334人と続いている。また、最も減少したのは北九州市の3,011人で、以下、大牟田市1,079人、直方市421人の順となっている。

人口増加率では、夜須町の2.93%が最も高く、以下、篠栗町2.13%、小郡市1.97%と続き、最も低いのは小竹町の2.67%で、以下、大島村2.55%、星野村1.70%の順となっている。

(表8、表10、表11、表12、図3)

表12 人口増加数及び人口増加率順位(市町村)(前年10月1日～当年9月30日)

順位	人口増加数(人)				順位	人口増加率(%)			
	12年		11年			12年		11年	
1	福岡市	9,585	福岡市	9,017	1	夜須町	2.93	篠栗町	3.22
2	筑紫野市	1,610	筑紫野市	2,155	2	篠栗町	2.13	玄海町	2.56
3	春日市	1,334	春日市	1,415	3	小郡市	1.97	筑紫野市	2.43
4	大野城市	1,160	大野城市	1,290	4	新宮町	1.79	新宮町	2.12
5	小郡市	1,061	前原市	1,253	5	筑紫野市	1.77	前原市	2.02
6	前原市	967	篠栗町	903	6	前原市	1.53	小郡市	1.58
7	宗像市	867	小郡市	838	7	久山町	1.42	粕屋町	1.58
8	久留米市	758	宗像市	796	8	大野城市	1.31	大野城市	1.48
9	篠栗町	616	粕屋町	535	9	春日市	1.28	春日市	1.37
10	夜須町	467	古賀市	500	10	宗像市	1.07	三輪町	1.20
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
88	高田町	238	山田市	211	88	吉富町	1.26	黒木町	1.42
89	黒木町	241	黒木町	215	89	添田町	1.27	添田町	1.45
90	小竹町	270	糸田町	231	90	築城町	1.29	山川町	1.49
91	小川市	324	柳川市	318	91	碓井町	1.40	立花町	1.51
92	大川市	364	大川市	359	92	犀川町	1.52	山田市	1.73
93	柳川市	375	田川市	449	93	高田町	1.54	上陽町	1.81
94	中間市	411	直方市	472	94	黒木町	1.62	犀川町	1.87
95	直方市	421	飯塚市	539	95	星野村	1.70	小石原村	1.93
96	大牟田市	1,079	大牟田市	925	96	大島村	2.55	糸田町	2.14
97	北九州市	3,011	北九州市	2,846	97	小竹町	2.67	宝珠山村	2.27

2 世帯増加

この1年間に25,055世帯増加

この1年間の世帯増加をみると、25,055世帯(1.32%)の増加となった。

前年(10年10月～11年9月)と比べると、増加数で3,545世帯、増加率で0.21ポイント下回っている。(表13)

表13 世帯増加数及び世帯増加率(前年10月1日～当年9月30日)

	世帯増加数(世帯)		世帯増加率(%)		対前年差	
	12年	11年	12年	11年	世帯増加数	世帯増加率
福岡県	25,055	28,600	1.32	1.53	3,545	0.21
市部	20,631	23,641	1.34	1.56	3,010	0.22
郡部	4,424	4,959	1.22	1.39	535	0.17
福岡	15,642	16,613	1.70	1.84	971	0.14
北九州	5,209	7,583	0.99	1.46	2,374	0.47
筑豊	1,294	1,319	0.75	0.77	25	0.02
筑後	2,910	3,085	1.03	1.10	175	0.07

### 3 自然増加

この1年間に8,049人(0.16%)増加

平成11年10月から12年9月までの1年間の自然増加数は8,049人(出生者47,006人、死亡者38,957人)で、自然増加率は0.16%であった。

地域別にみると、福岡地域は8,826人(0.38%)、筑後地域は288人(0.03%)、北九州地域は10人(0.00%)増加しているが、筑豊地域は1,075人(0.23%)減少している。(表10、表11、表14、表15)

市町村別に自然増加数を見ると、福岡市の5,111人が最も多く、以下、久留米市1,094人、春日市865人と続いている。また、最も少ないのは大牟田市の476人で、以下、中間市129人、田川市108人の順となっている。

自然増加率では粕屋町の0.99%が最も高く、以下、那珂川町0.85%、春日市0.83%と続き、最も低いのは宝珠山村の1.39%で、以下、大島村1.11%、犀川町0.92%の順となっている。(表16、図4)

表14 自然増加数及び出生・死亡者数(前年10月1日～当年9月30日)

	自然増加数(人)		出生者数(人)		死亡者数(人)	
	12年	11年	12年	11年	12年	11年
福岡県	8,049	7,033	47,006	47,205	38,957	40,172
(男)	3,363	2,635	24,183	24,173	20,820	21,538
(女)	4,686	4,398	22,823	23,032	18,137	18,634
市 部	8,494	7,814	37,291	37,455	28,797	29,641
郡 部	445	781	9,715	9,750	10,160	10,531
福 岡	8,826	8,606	23,311	23,224	14,485	14,618
北九州	10	87	11,905	12,207	11,895	12,120
筑 豊	1,075	1,631	3,840	3,755	4,915	5,386
筑 後	288	29	7,950	8,019	7,662	8,048

表15 自然増加率及び出生・死亡率(前年10月1日～当年9月30日)

	自然増加率(%)		出生率(‰)		死亡率(‰)	
	12年	11年	12年	11年	12年	11年
福岡県	0.16	0.14	9.38	9.44	7.77	8.04
(男)	0.14	0.11	10.12	10.14	8.71	9.03
(女)	0.18	0.17	8.71	8.81	6.92	7.13
市 部	0.22	0.20	9.58	9.65	7.40	7.64
郡 部	0.04	0.07	8.69	8.72	9.09	9.42
福 岡	0.38	0.38	10.09	10.13	6.27	6.38
北九州	0.00	0.01	8.79	9.00	8.78	8.93
筑 豊	0.23	0.34	8.14	7.91	10.42	11.34
筑 後	0.03	0.00	9.10	9.16	8.77	9.20

表16 自然増加数及び自然増加率順位(市町村)(前年10月1日～当年9月30日)

順位	自然増加数(人)				順位	自然増加率(%)			
	12年		11年			12年		11年	
1	福岡市	5,111	福岡市	5,018	1	粕屋町	0.99	那珂川町	0.98
2	久留米市	1,094	久留米市	932	2	那珂川町	0.85	粕屋町	0.89
3	春日市	865	春日市	784	3	春日市	0.83	春日市	0.76
4	大野城市	681	大野城市	649	4	新宮町	0.78	大野城市	0.74
5	筑紫野市	407	那珂川町	443	5	大野城市	0.77	新宮町	0.63
6	那珂川町	390	筑紫野市	394	6	篠栗町	0.55	志免町	0.56
7	粕屋町	341	北九州市	365	7	苅田町	0.52	苅田町	0.49
8	北九州市	333	粕屋町	302	8	久留米市	0.46	前原市	0.47
9	前原市	280	前原市	294	9	筑紫野市	0.45	筑紫野市	0.44
10	苅田町	183	志免町	210	10	前原市	0.44	久留米市	0.39
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
88	川崎町	72	香春町	92	88	糸田町	0.56	立花町	0.66
89	瀬高町	73	黒木町	93	89	朝倉町	0.61	山田市	0.67
90	直方市	74	柳川市	102	90	嘉穂町	0.63	香春町	0.68
91	宮田町	83	中間市	106	91	上陽町	0.66	嘉穂町	0.70
92	鞍手町	88	飯塚市	107	92	添田町	0.74	山川町	0.72
93	添田町	97	鞍手町	107	93	星野村	0.87	朝倉町	0.82
94	柳川市	103	添田町	109	94	大平村	0.90	添田町	0.82
95	田川市	108	豊前市	133	95	犀川町	0.92	犀川町	0.89
96	中間市	129	田川市	276	96	大島村	1.11	小石原村	1.04
97	大牟田市	476	大牟田市	500	97	宝珠山村	1.39	宝珠山村	1.30



## 出生者・死亡者

この1年間の出生者数は47,006人(出生率9.38‰)で、死亡者数は38,957人(死亡率7.77‰)であった。前年(10年10月～11年9月)と比べると、出生者数は199人、死亡者数は1,215人減少している。

男女別にみると、出生者数は男性が24,183人、女性が22,823人で、男性が女性より1,360人多く、出生性比は106.0となっている。死亡者数は男性が20,820人、女性が18,137人で、男性が女性より2,683人多く、死亡性比は114.8となっている。

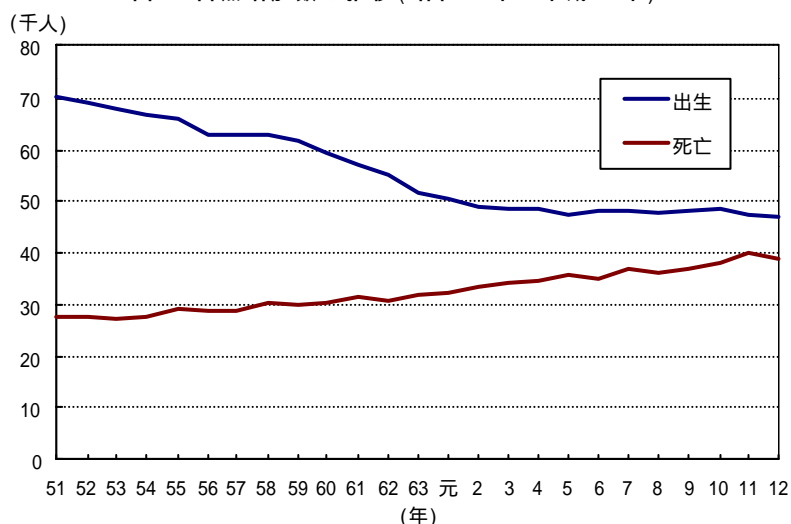
市町村別にみると、出生率は粕屋町の16.50‰が最も高く、大島村の4.43‰が最も低い。死亡率は宝珠山村の19.12‰が最も高く、那珂川町の4.68‰が最も低い。

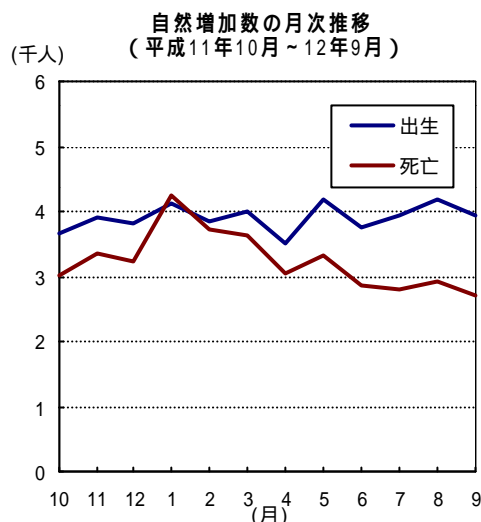
出生者数と死亡者数を月別にみると、出生者は年間を通して変動は少ないが、死亡者は1月が最も多く、夏期は少なくなっている。(表14、表15、表17、図5)

表17 出生・死亡率順位(市町村)(前年10月1日～当年9月30日)

順位	出生率(‰)				順位	死亡率(‰)			
	12年		11年			12年		11年	
1	粕屋町	16.50	那珂川町	14.94	1	宝珠山村	19.12	小石原村	18.46
2	那珂川町	13.20	粕屋町	14.46	2	大島村	15.52	宝珠山村	15.29
3	新宮町	13.11	大野城市	12.65	3	大平村	15.13	添田町	15.11
4	春日市	13.04	志免町	12.49	4	星野村	14.92	朝倉町	14.14
5	大野城市	12.42	苅田町	12.37	5	犀川町	14.33	山田市	14.04
6	篠栗町	12.22	春日市	12.35	6	新吉富村	13.43	犀川町	13.80
7	三橋町	11.59	篠栗町	11.94	7	糸田町	13.43	糸田町	13.69
8	久留米市	11.53	新宮町	11.90	8	添田町	13.41	新吉富村	13.69
9	苅田町	11.48	前原市	11.33	9	矢部村	13.38	山川町	13.50
10	前原市	11.43	久留米市	11.24	10	川崎町	12.47	碓井町	13.36
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
88	若宮町	5.96	嘉穂町	6.18	88	大宰府市	6.60	前原市	6.59
89	嘉穂町	5.54	大平村	6.12	89	宗像市	6.50	筑紫野市	6.49
90	黒木町	5.50	上陽町	6.03	90	苅田町	6.30	宇美町	6.37
91	玄海町	5.40	朝倉町	5.98	91	古賀市	6.27	大宰府市	6.24
92	朝倉町	5.38	鞍手町	5.81	92	筑紫野市	6.07	福岡市	6.13
93	宝珠山村	5.21	赤村	5.73	93	福岡市	5.99	新宮町	5.65
94	上陽町	5.20	立花町	5.09	94	新宮町	5.26	粕屋町	5.57
95	犀川町	5.08	犀川町	4.86	95	春日市	4.76	大野城市	5.23
96	高田町	4.86	矢部村	4.41	96	大野城市	4.74	那珂川町	5.16
97	大島村	4.43	宝珠山村	2.27	97	那珂川町	4.68	春日市	4.75

図5 自然増加数の推移(昭和51年～平成12年)





#### 4 社会増加

この1年間に4,411人(0.09%)増加、社会増加は福岡地域のみ

平成11年10月から12年9月までの1年間の社会増加数は4,411人(転入者311,645人、転出者307,234人)で、社会増加率は0.09%であった。

地域別にみると、福岡地域は9,626人(0.42%)増加しているが、北九州地域は3,211人(0.24%)、筑豊地域は1,042人(0.22%)、筑後地域は962人(0.11%)減少している。

市町村別に社会増加数を見ると、福岡市の4,474人が最も多く、以下、筑紫野市1,203人、小都市966人の順で、最も少ないのは、北九州市の3,344人で、以下、大牟田市603人、直方市347人の順となっている。

社会増加率では、夜須町の2.86%が最も高く、以下、宝珠山村1.80%、小都市1.79%の順で、最も低いのは小竹町の2.29%で、以下、大島村1.44%、黒木町1.19%の順となっている。

(表10、表11、表18、表19、表20、図6)

表18 社会増加数及び転入・転出者数(前年10月1日～当年9月30日)

	社会増加数(人)		転入者数(人)		転出者数(人)	
	12年	11年	12年	11年	12年	11年
福岡県	4,411	5,169	311,645	312,680	307,234	307,511
(男)	816	2,025	162,255	164,547	161,439	162,522
(女)	3,595	3,144	149,390	148,133	145,795	144,989
市 部	3,816	4,106	257,518	257,962	253,702	253,856
郡 部	595	1,063	54,127	54,718	53,532	53,655
福 岡	9,626	11,060	183,880	184,267	174,254	173,207
北九州	3,211	2,901	70,389	71,102	73,600	74,003
筑 豊	1,042	1,657	20,285	20,733	21,327	22,390
筑 後	962	1,333	37,091	36,578	38,053	37,911

表19 社会増加率及び転入・転出率(前年10月1日～当年9月30日)

	社会増加率(%)		転入率(%)		転出率(%)	
	12年	11年	12年	11年	12年	11年
福岡県	0.09	0.10	6.22	6.26	6.13	6.15
(男)	0.03	0.08	6.79	6.90	6.76	6.82
(女)	0.14	0.12	5.70	5.67	5.56	5.55
市 部	0.10	0.11	6.62	6.65	6.52	6.54
郡 部	0.05	0.10	4.84	4.90	4.79	4.80
福 岡	0.42	0.48	7.96	8.04	7.54	7.56
北九州	0.24	0.21	5.20	5.24	5.44	5.45
筑 豊	0.22	0.35	4.30	4.37	4.52	4.71
筑 後	0.11	0.15	4.25	4.18	4.36	4.33

表20 社会増加数及び社会増加率順位(市町村)(前年10月1日～当年9月30日)

順位	社会増加数(人)				順位	社会増加率(%)			
	12年		11年			12年		11年	
1	福岡市	4,474	福岡市	3,999	1	夜須町	2.86	玄海町	3.09
2	筑紫野市	1,203	筑紫野市	1,761	2	宝珠山村	1.80	篠栗町	2.84
3	小郡市	966	前原市	959	3	小郡市	1.79	筑紫野市	1.99
4	宗像市	731	篠栗町	798	4	篠栗町	1.58	前原市	1.55
5	前原市	687	小郡市	751	5	久山町	1.47	新宮町	1.49
6	大野城市	479	宗像市	658	6	筑紫野市	1.32	小郡市	1.41
7	春日市	469	大野城市	641	7	新吉富村	1.15	岡垣町	1.40
8	篠栗町	457	春日市	631	8	前原市	1.09	三輪町	1.29
9	夜須町	456	岡垣町	416	9	新宮町	1.01	碓井町	1.12
10	行橋市	407	古賀市	339	10	岡垣町	0.94	赤池町	1.07
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
88	田川市	216	浮羽町	169	88	築城町	0.80	小竹町	0.84
89	小竹町	232	田川市	173	89	星野村	0.82	立花町	0.85
90	柳川市	272	糸田町	176	90	勝山町	1.01	小石原村	0.88
91	中間市	282	柳川市	216	91	碓井町	1.06	芦屋町	0.89
92	那珂川町	324	大川市	307	92	高田町	1.10	宝珠山村	0.96
93	大川市	331	直方市	401	93	穎田町	1.12	浮羽町	0.96
94	久留米市	336	大牟田市	425	94	吉富町	1.14	犀川町	0.97
95	直方市	347	飯塚市	432	95	黒木町	1.19	山田市	1.06
96	大牟田市	603	久留米市	488	96	大島村	1.44	上陽町	1.48
97	北九州市	3,344	北九州市	3,211	97	小竹	2.29	糸田	1.63

転入者・転出者

この1年間の転入者は311,645人(転入率6.22%)で、転出者は307,234人(転出率6.13%)であった。前年(10年10月～11年9月)と比べると、転入者は1,035人、転出者は277人減少している。

転出者及び転入者を男女別にみると、転入者は男性162,255人(転入率6.79%)、女性149,390人(同5.70%)、転出者は男性161,439人(転出率6.76%)、女性145,795人(同5.56%)となっている。

また、市町村別にみると、転入者数(117,947人)、転出者数(113,473人)とも福岡市が最も多く、大島村が最も少ない。

転入率は、春日市の9.16%が最も高く、黒木町の1.86%が最も低い。転出率は、芦屋町の8.85%が最も高く、立花町の2.82%が最も低い。(表18、表19、表21、表22、図7)

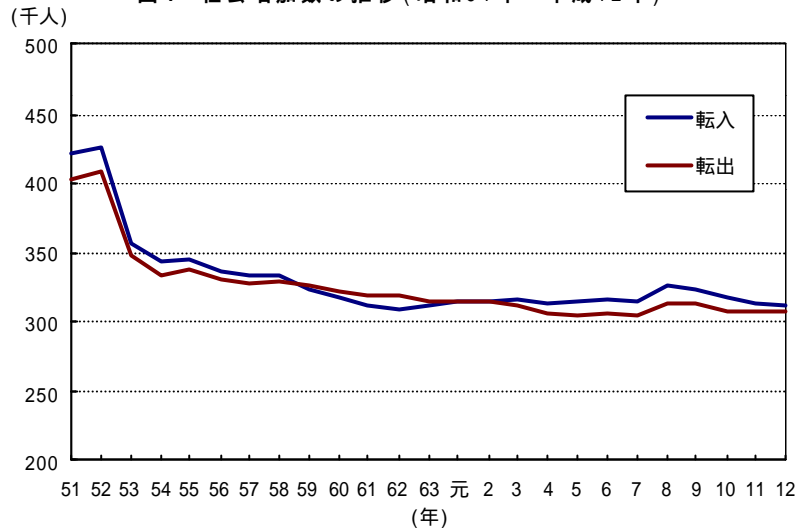
表21 転入・転出者数順位(市町村)(前年10月1日～当年9月30日)

順位	転入者数(人)				順位	転出者数(人)			
	12年		11年			12年		11年	
1	福岡市	117,947	福岡市	118,730	1	福岡市	113,473	福岡市	114,731
2	北九州市	54,143	北九州市	54,864	2	北九州市	57,487	北九州市	58,075
3	久留米市	13,455	久留米市	13,064	3	久留米市	13,791	久留米市	13,552
4	春日市	9,573	春日市	9,273	4	春日市	9,104	春日市	8,642
5	大野城市	7,658	大野城市	7,346	5	大野城市	7,179	大野城市	6,705
6	筑紫野市	6,933	筑紫野市	7,144	6	筑紫野市	5,730	筑紫野市	5,383
7	大牟田市	4,716	宗像市	4,610	7	大牟田市	5,319	大牟田市	4,922
8	太宰府市	4,702	太宰府市	4,544	8	太宰府市	4,862	飯塚市	4,631
9	宗像市	4,543	大牟田市	4,497	9	飯塚市	4,274	太宰府市	4,579
10	飯塚市	4,292	飯塚市	4,199	10	宗像市	3,812	宗像市	3,952
：	：	：	：	：	：	：	：	：	：
88	新吉富村	212	新吉富村	196	88	山川町	178	山川町	208
89	山川町	174	山川町	163	89	新吉富村	165	上陽町	179
90	大平村	172	大平村	153	90	大平村	150	新吉富村	175
91	赤村	136	赤村	132	91	赤村	137	赤村	160
92	上陽町	105	上陽町	115	92	星野村	129	大平村	153
93	宝珠山村	99	星野村	97	93	上陽町	120	星野村	110
94	星野村	97	小石原村	46	94	宝珠山村	68	小石原村	57
95	矢部村	57	矢部村	45	95	矢部村	65	矢部村	54
96	小石原村	39	大島村	33	96	小石原村	42	宝珠山村	48
97	大島村	17	宝珠山村	31	97	大島村	30	大島村	34

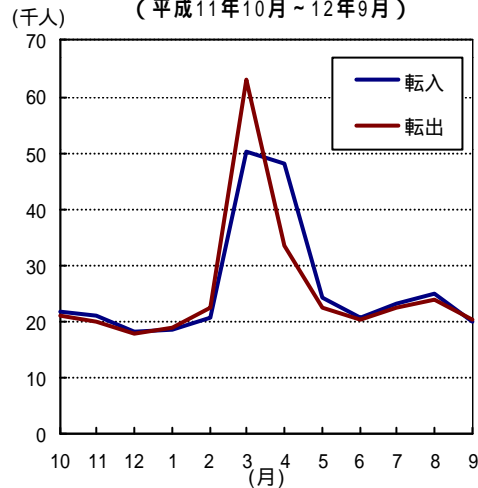
表22 転入・転出率順位(市町村)(前年10月1日～当年9月30日)

順位	転入率(%)				順位	転出率(%)			
	12年		11年			12年		11年	
1	春日市	9.16	新宮町	9.49	1	芦屋町	8.85	芦屋町	9.80
2	芦屋町	9.01	春日市	9.00	2	春日市	8.71	福岡市	8.69
3	福岡市	8.87	福岡市	8.99	3	福岡市	8.53	春日市	8.39
4	大野城市	8.63	芦屋町	8.92	4	粕屋町	8.31	新宮町	7.99
5	新宮町	8.35	粕屋町	8.59	5	大野城市	8.09	粕屋町	7.90
6	粕屋町	8.34	大野城市	8.40	6	那珂川町	7.94	大野城市	7.67
7	筑紫野市	7.63	篠栗町	8.37	7	新宮町	7.34	志免町	7.05
8	篠栗町	7.28	筑紫野市	8.05	8	太宰府市	7.30	那珂川町	7.00
9	夜須町	7.27	那珂川町	6.99	9	志免町	7.03	太宰府市	6.89
10	那珂川町	7.23	志免町	6.94	10	小竹町	6.88	苅田町	6.07
：	：	：	：	：	：	：	：	：	：
88	田主丸町	2.82	山川町	2.79	88	大島村	3.33	大和町	3.30
89	瀬高町	2.80	上陽町	2.67	89	星野村	3.32	嘉穂町	3.17
90	朝倉町	2.68	犀川町	2.61	90	瀬高町	3.23	矢部村	2.98
91	大和町	2.63	高田町	2.57	91	大和町	3.10	瀬高町	2.97
92	星野村	2.49	矢部村	2.48	92	山川町	3.09	立花町	2.96
93	上陽町	2.48	星野村	2.47	93	黒木町	3.04	田主丸町	2.92
94	高田町	2.30	朝倉町	2.45	94	朝倉町	3.04	朝倉町	2.88
95	立花町	2.23	立花町	2.11	95	田主丸町	2.96	黒木町	2.84
96	大島村	1.88	黒木町	2.04	96	上陽町	2.83	星野村	2.81
97	黒木町	1.86	宝珠山村	1.76	97	立花町	2.82	宝珠山村	2.72

図7 社会増加数の推移(昭和51年～平成12年)



自然増加数の月次推移  
(平成11年10月～12年9月)



## 5 移動者の状況

移動者数は428,730人、移動率は8.56%

平成11年10月から12年9月までの1年間の総移動数(転入者と転出者の合計)は、618,879人(転入者311,645人、転出者307,234人)であった。このうち、県内移動者(県内各市町村からの転入者)は178,897人、県外移動者(県外からの転入者と県外への転出者の合計)は249,833人で、これらを合わせた移動者数は428,730人、移動率は8.56%となっている。(表18、表23)

移動者数を年齢(5歳階級)別にみると、20～24歳の85,939人(構成比20.0%)が最も多く、以下、25～29歳の79,695人(同18.6%)、30～34歳の49,619人(同11.6%)の順となっている。(表24)

### 県内移動

この1年間の県内移動者数は178,897人で、移動者の41.7%を占めている。

年齢(5歳階級)別にみると、25～29歳の37,350人(構成比20.9%)が最も多く、以下、20～24歳の

30,512人(同17.1%)と続き、20歳代が県内移動の主体となっている。また、30～34歳(21,919人、同12.3%)や、これらの年齢層に付随して移動している0～4歳(15,057人、同8.4%)の移動も多い。(表23、表24、図8)

表23 県内・県外移動者数の推移 (昭和51年～平成12年)

年次	移動者(人)	移動者(人)		
		県内移動	県外転入	県外転出
昭和51年	477,666	210,096	143,214	124,356
52	480,661	207,846	144,829	127,986
53	469,118	205,360	135,636	128,122
54	467,057	205,677	134,457	126,923
55	477,522	215,658	136,423	125,441
56	460,189	200,519	133,098	126,572
57	458,883	200,439	131,379	127,065
58	457,862	203,781	128,820	125,261
59	448,188	196,819	124,906	126,463
60	442,171	192,808	122,323	127,040
61	435,819	188,064	120,746	127,009
62	435,632	187,406	119,663	128,563
63	429,937	187,799	119,699	122,439
平成元年	431,654	187,975	122,807	120,872
2	429,787	187,349	122,023	120,415
3	432,155	186,133	125,427	120,595
4	429,135	181,499	128,356	119,280
5	424,459	184,634	125,833	113,992
6	423,634	189,814	122,310	111,510
7	422,317	187,705	123,166	111,446
8	439,048	189,087	130,480	119,481
9	439,925	186,203	131,321	122,401
10	435,763	179,082	132,289	124,392
11	430,065	179,414	127,340	123,311
12	428,730	178,897	126,696	123,137

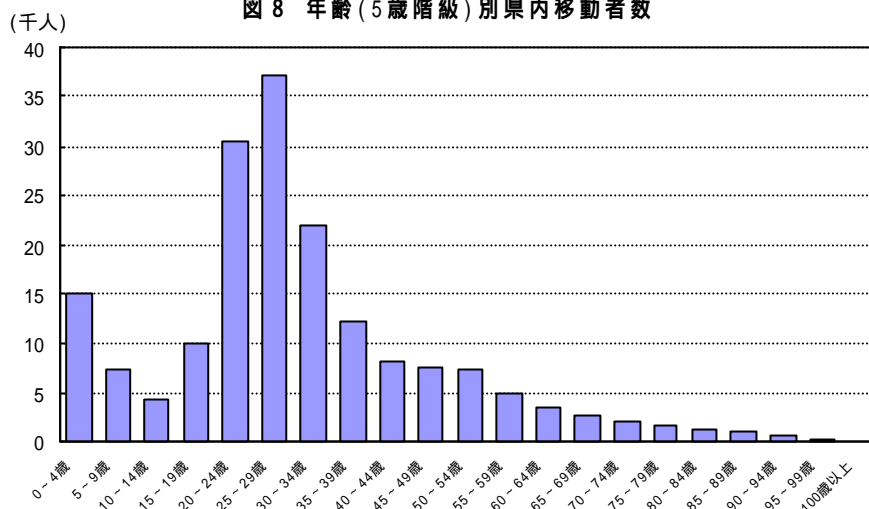
注) 平成7年以前の数値は総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告」によるため、外国人を含まない。

表24 年齢(5歳階級)別移動者数(前年10月1日～当年9月30日)

年齢階級	移動者				転入者			転出者		
	総数	構成比(%)	県内移動	県外移動	総数	県内	県外	総数	県内	県外
総数	428,730	100.0	178,897	249,833	311,645	178,897	126,696	307,234	179,755	123,137
0～4	32,154	7.5	15,057	17,097	23,839	15,057	8,414	24,084	15,204	8,683
5～9	18,707	4.4	7,353	11,354	13,415	7,353	5,829	13,052	7,398	5,525
10～14	11,202	2.6	4,266	6,936	8,118	4,266	3,663	7,725	4,329	3,273
15～19	34,634	8.1	9,929	24,705	24,103	9,929	13,734	21,251	10,105	10,971
20～24	85,939	20.0	30,512	55,427	58,805	30,512	27,502	58,967	30,659	27,925
25～29	79,695	18.6	37,350	42,345	58,633	37,350	20,570	59,702	37,443	21,775
30～34	49,619	11.6	21,919	27,700	36,185	21,919	13,745	36,322	21,964	13,955
35～39	30,233	7.1	12,308	17,925	21,885	12,308	9,120	21,585	12,396	8,805
40～44	19,433	4.5	7,956	11,477	14,147	7,956	5,834	14,002	7,974	5,643
45～49	17,210	4.0	7,476	9,734	12,991	7,476	5,110	12,568	7,485	4,624
50～54	16,752	3.9	7,266	9,486	12,694	7,266	4,969	12,247	7,255	4,517
55～59	10,570	2.5	4,911	5,659	8,234	4,911	2,974	7,891	4,895	2,685
60～64	6,591	1.5	3,429	3,162	5,409	3,429	1,754	5,014	3,422	1,408
65～69	4,504	1.1	2,591	1,913	3,790	2,591	1,024	3,580	2,603	889
70～74	3,460	0.8	1,937	1,523	2,795	1,937	740	2,784	1,945	783
75～79	3,025	0.7	1,723	1,302	2,440	1,723	634	2,425	1,729	668
80～84	2,334	0.5	1,302	1,032	1,886	1,302	522	1,853	1,319	510
85～89	1,761	0.4	1,046	715	1,459	1,046	369	1,419	1,059	346
90～94	735	0.2	460	275	631	460	146	598	464	129
95～99	140	0.0	99	41	129	99	26	117	100	15
100歳以上	15	0.0	7	8	12	7	5	12	7	3
不詳	17	0.0	-	17	45	-	12	36	-	5

注) 転入者及び転出者の総数には、新旧住所地不明者及び職権記載者、消除者を含む。

図8 年齢(5歳階級)別県内移動者数



県内移動者を地域別にみると、福岡地域への転入者は102,690人、北九州地域へは42,285人、筑後地域へは19,373人、筑豊地域へは14,549人となっており、県内移動者の57.4%が福岡地域へ転入している。

福岡地域からの県内移動者の84.3%が同地域内への移動である。また、筑後地域からは35.0%、筑豊地域からは21.3%、北九州地域からは20.4%が福岡地域へ移動している。

筑豊地域から北九州地域へは15.9%移動しており、福岡地域への移動を除き、他の地域間移動の中では目立っている。(表25)

表25 県内地域間移動

		移動先住所別県内移動者数(人)					移動先住所別割合(%)				
		県計	福岡地域	北九州地域	筑豊地域	筑後地域	県計	福岡地域	北九州地域	筑豊地域	筑後地域
従前住所在地	県計	178,897	102,690	42,285	14,549	19,373	100.0	57.4	23.6	8.1	10.8
	福岡地域	98,876	83,305	6,823	2,471	6,277	100.0	84.3	6.9	2.5	6.3
	北九州地域	44,576	9,080	31,986	2,464	1,046	100.0	20.4	71.8	5.5	2.3
	筑豊地域	15,331	3,261	2,439	9,242	389	100.0	21.3	15.9	60.3	2.5
	筑後地域	20,114	7,044	1,037	372	11,661	100.0	35.0	5.2	1.8	58.0

注) 表側の地域から、表頭の地域への転入者。



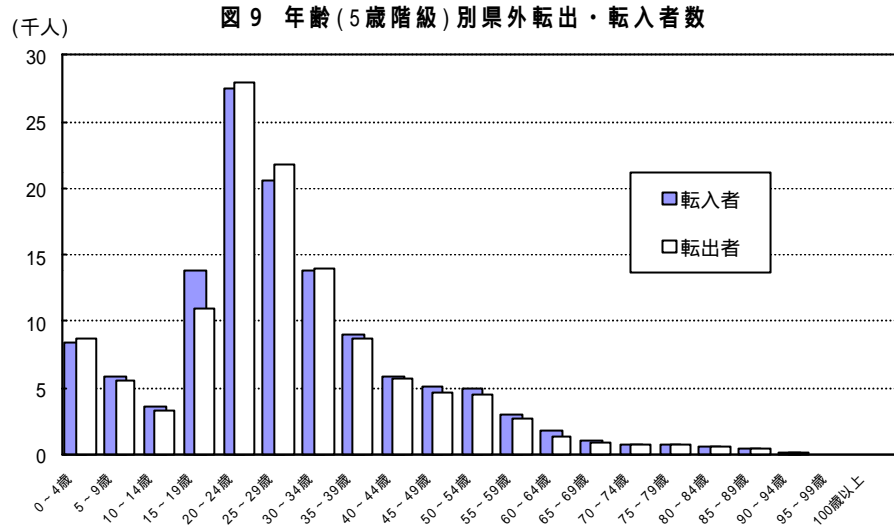
## 県外移動

この1年間の県外移動者数(国外への転出入を含む)は249,833人で、移動者の58.3%を占めている。このうち、転入者が126,696人、転出者が123,137人で、3,559人の転入超過となっている。

年齢(5歳階級)別にみると、20~24歳の55,427人(構成比22.2%)が最も多く、以下、25~29歳の42,345人(同16.9%)、30~34歳の27,700人(同11.1%)の順となっている。

移動者の多い20歳代から30歳代前半では、転出者が転入者をわずかに上回る転出超過となっており、また、これらの年齢層に付随して移動している0~4歳においても転出超過となっている。

(表23、表24、図9、表26)



### (都道府県別県外転入・県外転出)

他都道府県及び国外からの転入者は126,696人で、前年(127,340人)に比べ644人減少している。このうち、九州・沖縄各県からの転入者が53,774人で、県外転入者の42.4%を占めている。

最も多いのは長崎県からの11,727人(県外転入者の9.3%)で、以下、熊本県10,678人(同8.4%)、東京都9,167人(7.2%)の順となっている。また、国外からの転入者は8,778人で、県外転入者の6.9%を占めている。

他都道府県及び国外への転出者は123,137人で、前年(123,311人)に比べ174人減少している。このうち、九州・沖縄各県への転出者が48,030人で、県外転出者の39.0%を占めている。

最も多いのは東京都への12,111人(県外転出者の9.8%)で、以下、熊本県10,516人(8.5%)、長崎県9,594人(7.8%)の順となっている。また、国外への転出者は7,429人で、県外転出者の6.0%を占めている。(表23、表24、表26、図10、表27、表28、図11、図12)

表26 従前・転出先の住所地別転入(転出)超過数順位 (前年10月1日~当年9月30日)

順位	従前・転出先の住所地	転入・転出超過数(人)	転入者数(人)	転出者数(人)
-	県外計	3,559	126,696	123,137
1	長崎県	2,133	11,727	9,594
2	山口県	1,602	6,592	4,990
3	国分県	1,349	8,778	7,429
4	大分県	1,208	8,464	7,256
5	鹿児島県	968	6,991	6,023
6	宮崎県	849	4,984	4,135
7	広島県	525	4,637	4,112
8	佐賀県	402	8,876	8,474
9	熊本県	162	10,678	10,516
10	岡山県	144	1,638	1,494
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
45	千葉県	448	3,965	4,413
46	神奈川県	1,256	5,601	6,857
47	東京都	2,944	9,167	12,111

注) マイナス値は転出超過。

図10 従前及び転出先の住所地(都道府県、国外)別転出・転入者数

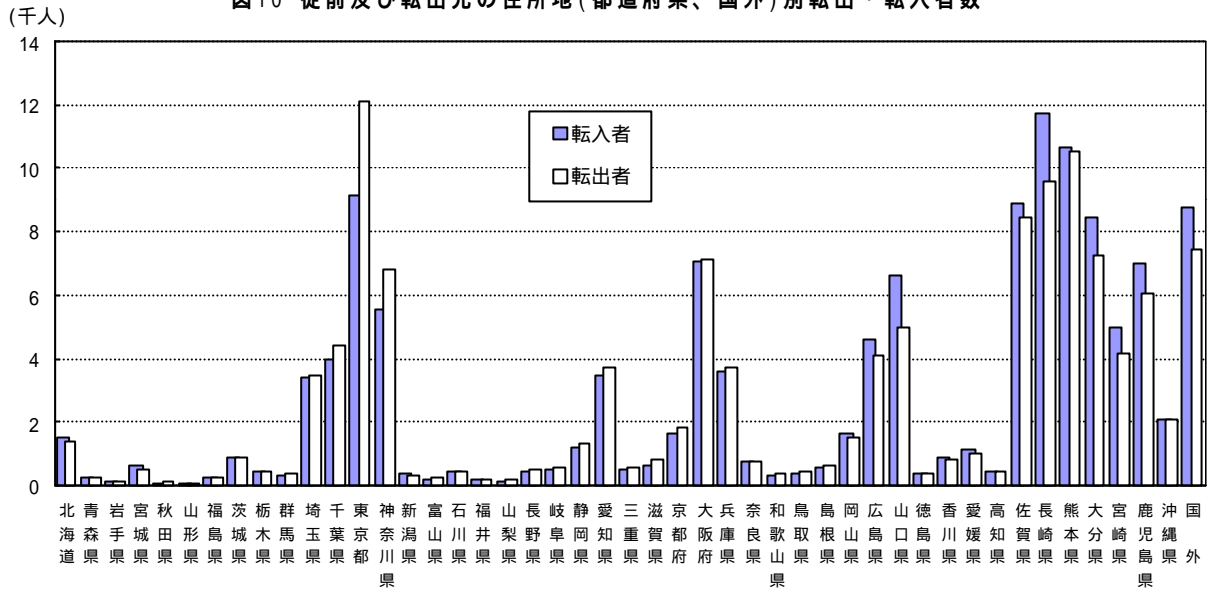


表27 従前住所地別県外転入者数順位  
(前年10月1日～当年9月30日)

順位	従前住所地	転入者数 (人)	構成比 (%)
	県外計	126,696	100.0
1	長崎県	11,727	9.3
2	熊本県	10,678	8.4
3	東京都	9,167	7.2
4	佐賀県	8,876	7.0
5	国外	8,778	6.9
6	大分県	8,464	6.7
7	大阪府	7,031	5.5
8	鹿児島県	6,991	5.5
9	山口県	6,592	5.2
10	神奈川県	5,601	4.4

図11 従前住所地別県外転入者割合

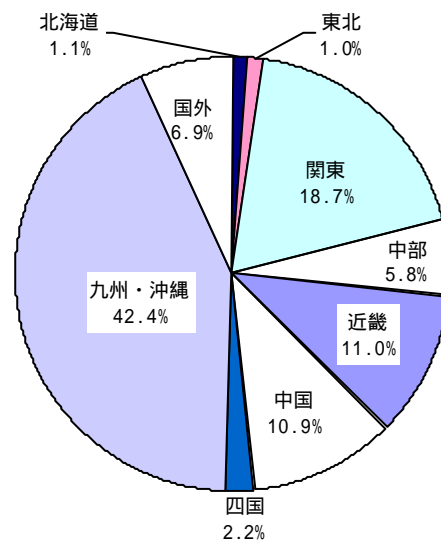
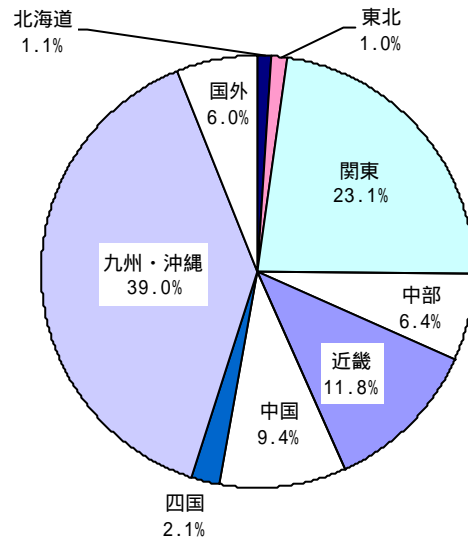


表28 転出先住所地別県外転出者数順位  
(前年10月1日～当年9月30日)

順位	転出先住所地	転出者数 (人)	構成比 (%)
	県外計	123,137	100.0
1	東京都	12,111	9.8
2	熊本県	10,516	8.5
3	長崎県	9,594	7.8
4	佐賀県	8,474	6.9
5	国外	7,429	6.0
6	大分県	7,256	5.9
7	大阪府	7,124	5.8
8	神奈川県	6,857	5.6
9	鹿児島県	6,023	4.9
10	山口県	4,990	4.1

図12 転出先の住所地別県外転出者割合



(地域別県外転入・県外転出)

県外からの転入者を地域別にみると、福岡地域へは78,253人、北九州地域へは26,468人、筑後地域へは16,726人、筑豊地域へは5,249人となっており、福岡地域への転入者が61.8%を占めている。

4地域とも九州各県や東京都からの転入者が多いが、筑豊地域では国外からの転入者が733人と最も多く、14.0%を占めている。

県外への転出者を地域別にみると、福岡地域からは72,750人、北九州地域からは27,625人、筑後地域からは17,189人、筑豊地域からは5,573人となっており、福岡地域からの転出者が59.1%を占めている。

福岡地域と北九州地域では東京都への転出者が、それぞれ7,908人(構成比10.9%)、2,410人(同8.7%)と最も多くなっている。筑後地域では熊本県(2,755人、16.0%)や佐賀県(2,646人、15.4%)への転出者が多くなっている。筑豊地域では国外への転出者が593人と最も多く、10.6%を占め、転入も転出も国外との移動が最も多くなっている。

(表29、表30、表31)

表29 地域別県外移動者構成比  
(前年10月1日～当年9月30日)

	転入者数(人)		転出者数(人)	
	人数	構成比(%)	人数	構成比(%)
福岡県	126,696	100.0	123,137	100.0
市 部	111,022	87.6	106,983	86.9
郡 部	15,674	12.4	16,154	13.1
福 岡	78,253	61.8	72,750	59.1
北九州	26,468	20.9	27,625	22.4
筑 豊	5,249	4.1	5,573	4.5
筑 後	16,726	13.2	17,189	14.0

表30 地域別県外からの転入者数順位及び構成比(前年10月1日～当年9月30日)

順位	福岡地域			北九州地域			筑豊地域			筑後地域		
	従前居住地	転入者数(人)	構成比(%)	従前居住地	転入者数(人)	構成比(%)	従前居住地	転入者数(人)	構成比(%)	従前居住地	転入者数(人)	構成比(%)
-	県外計	78,253	100.0	県外計	26,468	100.0	県外計	5,249	100.0	県外計	16,726	100.0
1	長崎県	8,561	10.9	山口県	2,835	10.7	国 外	733	14.0	佐賀県	2,409	14.4
2	熊本県	6,591	8.4	大分県	2,469	9.3	長崎県	377	7.2	熊本県	2,398	14.3
3	東京都	6,257	8.0	東京都	1,652	6.2	東京都	363	6.9	国 外	2,041	12.2
4	佐賀県	5,428	6.9	国 外	1,616	6.1	大阪府	346	6.6	長崎県	1,181	7.1
5	鹿児島県	5,140	6.6	長崎県	1,608	6.1	大分県	298	5.7	東京都	895	5.4
6	大分県	4,868	6.2	大阪府	1,557	5.9	熊本県	292	5.6	大分県	829	5.0
7	大阪府	4,448	5.7	熊本県	1,397	5.3	佐賀県	223	4.2	神奈川県	704	4.2
8	国 外	4,388	5.6	神奈川県	1,311	5.0	山口県	216	4.1	大阪府	680	4.1
9	宮崎県	3,504	4.5	広島県	1,135	4.3	愛知県	207	3.9	鹿児島県	623	3.7
10	神奈川県	3,383	4.3	鹿児島県	1,047	4.0	神奈川県	203	3.9	宮崎県	471	2.8

表31 地域別県外への転出者数順位及び構成比(前年10月1日～当年9月30日)

順位	福岡地域			北九州地域			筑豊地域			筑後地域		
	転出先居住地	転出者数(人)	構成比(%)	転出先居住地	転出者数(人)	構成比(%)	転出先居住地	転出者数(人)	構成比(%)	転出先居住地	転出者数(人)	構成比(%)
-	県外計	72,750	100.0	県外計	27,625	100.0	県外計	5,573	100.0	県外計	17,189	100.0
1	東京都	7,908	10.9	東京都	2,410	8.7	国 外	593	10.6	熊本県	2,755	16.0
2	長崎県	6,727	9.2	大分県	2,396	8.7	東京都	507	9.1	佐賀県	2,646	15.4
3	熊本県	5,979	8.2	山口県	2,196	7.9	大阪府	390	7.0	国 外	1,796	10.4
4	佐賀県	4,704	6.5	神奈川県	1,625	5.9	長崎県	340	6.1	東京都	1,286	7.5
5	大阪府	4,498	6.2	国 外	1,535	5.6	大分県	334	6.0	長崎県	992	5.8
6	神奈川県	4,290	5.9	長崎県	1,535	5.6	熊本県	330	5.9	大分県	732	4.3
7	鹿児島県	4,276	5.9	大阪府	1,514	5.5	神奈川県	297	5.3	大阪府	722	4.2
8	大分県	3,794	5.2	熊本県	1,452	5.3	佐賀県	270	4.8	神奈川県	645	3.8
9	国 外	3,505	4.8	広島県	1,128	4.1	山口県	259	4.6	鹿児島県	612	3.6
10	宮崎県	2,751	3.8	千葉県	1,088	3.9	愛知県	194	3.5	千葉県	439	2.6

## 利用上の注意

### 1 利用上の注意

平成 12 年 10 月 1 日現在の人口及び世帯数は平成 12 年国勢調査の結果（速報値）の数値であり、人口動態については福岡県人口移動調査の平成 11 年 10 月 1 日から平成 12 年 9 月 30 日までの数値を取りまとめたものです。

したがって、平成 11 年 10 月 1 日現在の推計値に、本年報の増減数を加減しても、平成 12 年 10 月 1 日現在の人口及び世帯数とは一致しません。

#### (1) 人口・世帯の推計方法

人口及び世帯数は、国勢調査の数値を基準とし、「福岡県人口移動調査」によって得られる毎月の出生者、死亡者、転入者、転出者及び世帯の増減を加減し算出しています。

なお、基準人口となる国勢調査人口の中には、「年齢不詳」も含まれていますが、これは日本人と外国人の区別が付きません。本県では、これをすべて日本人とみなして基準人口に加えています。

#### (2) 社会増加の推計方法

県内市区町村ごとの社会増加数は「転入者数 - 転出者数」で算出します。

また、本年報における福岡県全体の社会増加数については、各市町村の社会増加数を累計した数値です。

#### (3) 県内移動者の扱いについて

福岡県全体における県内他市区町村からの転入者数の計と県内各市区町村への転出者数の計は理論上一致しますが、実際は各市町村における転出届と転入届の届出時期のずれなどにより必ずしも一致しません。

このため、本年報における県内市区町村間の移動者（県内移動者）については、県内他市区町村からの転入者数を用いています。

#### (4) 本年報で用いる面積値について

面積は、国土交通省国土地理院が公表した「平成 11 年全国都道府県市区町村別面積調」（以下「面積調」という。）の数値（平成 11 年 10 月 1 日現在）を用いています。

しかし、この「面積調」には、その一部に市区町村の境界に変更等があっても、国土地理院の調査が未了のため、変更以前の面積が表示されているものや境界未定のため関係市区町村の合計面積のみが表示されているものがあるため、県内すべての市区町村の面積値は掲載されていません。

このため、本年報における福岡県の境界未定市町（2 市 8 町）の面積については、総務省統計局が平成 7 年国勢調査時点（平成 7 年 10 月 1 日現在）で推定した数値を用いています。

また、県全体の面積については、「面積調」による各市区町村面積と境界未定市町分の総務省の推定面積を合算した数値を用いています。

なお、総務省統計局の推定面積は、後に国土地理院が測定の上公表する面積と一致しない

ことがありますので、利用の際には御注意ください。

(5) 平成7年9月以前の推計人口と福岡県人口移動調査開始後の推計人口との相違

福岡県人口移動調査開始以前の推計人口では、外国人の人口及び世帯の増加について、政令市は毎月の人口と世帯を加減し、政令市以外の市町村は毎年6月末日と12月末日現在の「外国人登録国籍別人員調査票」から得られる登録人口のみを加減していたため、外国人の要因別人口動態及び外国人を含む男女別の推計人口は把握できませんでした。

しかし、平成7年10月の人口移動調査開始以後は、外国人についても日本人と同様に毎月の出生者、死亡者、転入者、転出者の増減を加減しているため、人口動態及び男女別推計人口は外国人が含まれた数値となっています。なお、福岡県人口移動調査では外国人世帯の増減を加味していませんので、利用の際には御注意ください。

(6) 国勢調査による人口・世帯と住民基本台帳による人口・世帯との定義上の相違

国勢調査では、10月1日現在すでに3か月以上そこに住んでいる人、又は住むことになっている人を調査の対象としており、外国人も含まれていますが、住民基本台帳による人口は台帳に登録されている日本人のみの数になります。

また、学生寮、病院、社会施設等の世帯の決め方は、国勢調査では棟ごとに1世帯などとしているのに対し、住民基本台帳では1人1世帯としているなど、若干の相違があります。

(7) 厚生労働省の「人口動態統計」における自然動態と福岡県人口移動調査における自然動態との相違

厚生労働省所管の「人口動態統計」での出生数及び死亡数は、市区町村に届け出られた日本人の出生及び死亡の件数を発生月ごとに取りまとめており（発生主義）、厚生労働省統計情報部の刊行する「人口動態統計年報」では、当該年1月1日から翌年1月14日までに届け出られたもののうち、当該年に発生した数を集計しています。

これに対し、人口移動調査では出生（死亡）届又は通知により住民票に記載（住民票から削除）された日本人及び、出生（死亡）により新規登録（登録原票の閉鎖）があった外国人の数を、届出のあった月の件数として取りまとめており（届出主義）、年報では前年10月1日から当年9月30日までを1年として集計しています。

(8) 総務省統計局の各年「10月1日現在推計人口」と福岡県人口移動調査による推計人口との相違

総務省統計局では、毎年10月1日現在で全国及び都道府県別の人口推計を行っています。

総務省の推計も福岡県人口移動調査による推計も、いずれも国勢調査の人口を基準としていますが、人口増加数の算出において、総務省の推計では総務省統計局の「住民基本台帳人口移動報告」、厚生労働省の「人口動態統計(概数)」等、国の各種統計値を用い、また外国人人口増加数については、全国での増加数を各都道府県に按分するのに対し、福岡県人口移動調査においては、市町村から報告される人口移動データのみを用いて算出しています。

## 2 用語の説明

### (1) 用語の定義

- ・出生者：出生届又は出生の通知により住民票に記載された者及び出生により新規登録申請のあった外国人
- ・死亡者：死亡届又は死亡の通知により住民票から削除された者及び死亡により登録原票を閉鎖した外国人
- ・転入者：転入届により住民票に記載された者及び職権で住民票に記載された者外国人で、居住地変更の申請があった者及び新規登録の申請があった者
- ・転出者：転出届により住民票から削除された者及び職権で住民票から削除された者外国人で、新住所地へ登録原票を送付した者及び登録原票を閉鎖した者
- ・総移動数：転入者と転出者の合計
- ・移動者数：県内転入者、県外転入者及び県外転出者の合計
- ・期初人口：平成10年10月1日現在の福岡県人口移動調査による推計人口
- ・年少人口：0～14歳人口
- ・生産年齢人口：15～64歳人口
- ・老年人口：65歳以上人口
- ・年少人口割合：総人口に占める年少人口の割合
- ・生産年齢人口割合：総人口に占める生産年齢人口の割合
- ・老年人口割合：総人口に占める老年人口の割合

- ・全国地域区分：本年報における都道府県の地域区分は下表のとおりです。

地域区分	都道府県
北海道	北海道
東北	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
関東	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
中部	新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
近畿	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
中国	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
四国	徳島県、香川県、愛媛県、高知県
九州・沖縄	(福岡県)、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

- ・県内4地域及び10広域圏

4地域	10広域圏	市郡
福岡地域	福岡都市広域圏	福岡市、筑紫野市、春日市、大野城市、宗像市、太宰府市、前原市、古賀市、筑紫郡、糟屋郡、宗像郡、糸島郡
	甘木・朝倉広域圏	甘木市、朝倉郡
北九州地域	北九州都市広域圏	北九州市、中間市、遠賀郡
	京築広域圏	行橋市、豊前市、京都郡、築上郡
筑豊地域	飯塚広域圏	飯塚市、山田市、嘉穂郡
	田川広域圏	田川市、田川郡

	直方・鞍手広域圏	直方市、鞍手郡
筑後地域	久留米広域圏	久留米市、大川市、小郡市、浮羽郡、三井郡、三潴郡
	有明広域圏	大牟田市、柳川市、山門郡、三池郡
	八女・筑後広域圏	八女市、筑後市、八女郡

## (2) 各種指数の算出方法

- ・人口増加数(人) : 自然増加数 + 社会増加数
- ・人口増加率(%) :  $(\text{人口増加数} / \text{期初人口}) \times 100$
- ・自然増加数(人) : 出生者数 - 死亡者数
- ・自然増加率(%) :  $(\text{自然増加数} / \text{期初人口}) \times 100$
- ・出生率(‰) :  $(\text{出生者数} / \text{期初人口}) \times 1000$
- ・死亡率(‰) :  $(\text{死亡者数} / \text{期初人口}) \times 1000$
- ・社会増加数(人) : 転入者数 - 転出者数
- ・社会増加率(%) :  $(\text{社会増加数} / \text{期初人口}) \times 100$
- ・転入率(%) :  $(\text{転入者数} / \text{期初人口}) \times 100$
- ・転出率(%) :  $(\text{転出者数} / \text{期初人口}) \times 100$
- ・転入超過数(人) : 転入者数 - 転出者数
- ・総移動数(人) : 転入者数 + 転出者数
- ・総移動率(%) :  $(\text{総移動数} / \text{期初人口}) \times 100$
- ・移動者数(人) : 県内転入者 + 県外転入者 + 県外転出者
- ・移動率(%) :  $(\text{移動者数} / \text{期初人口}) \times 100$
- ・性比 :  $(\text{男の数} / \text{女の数}) \times 100$
- ・出生性比 :  $(\text{男の出生者数} / \text{女の出生者数}) \times 100$
- ・死亡性比 :  $(\text{男の死亡者数} / \text{女の死亡者数}) \times 100$

## (3) 使用記号

- 0.0、0.00 : 0.05 未満、0.005 未満
- : 皆無、該当数字無し
- ... : 不詳
- 、( - ) : 負数
- P : 暫定値
- ポイント : 構成比又は増加率の差

(注)年報中の小数点 1、2 位の数値は、それぞれ小数点 2、3 位を四捨五入して表示しているため、個々の数値を合算して得た数値と総数とは必ずしも一致しません。

## 3 福岡県人口移動調査の結果公表について

福岡県人口移動調査の表章地域(県計、市部・郡部計、4 地域計、10 広域圏計、各市区町村計)別の月次結果表は、県調査統計課資料室において閲覧することができます。